



結論（「理論的課題」に対する答え）

- (1) 類別詞は何に基づいて存在しているのか。
 - 類別詞は数えるときの身体的特徴に基づいている。
- (2) 類別詞を持つ言語と持たない言語はどこが違うのか。
 - 類別詞を持つ言語は抽象度のスケールにおいて基本レベル範疇の位置が低く、類別詞を持たない言語では基本レベル範疇の位置が高い。
- (3) 類別詞を持つ言語と数（単数・複数など）を持つ言語は相互排他的なのか。
 - 抽象度のスケールにおいて類別詞を持つ言語と持たない言語との境目の辺りに位置する言語は原初的な類別詞の体系と原初的な数の体系を持つことがある。



結論（「理論的課題」に対する答え）

- (4) 基本類別をたくさん持っている言語と少ない言語はどこが違うのか。
 - 基本類別詞を多く持つ言語は抽象度のスケールにおいて抽象度がかなり低く、少ない言語は抽象度がそれほど低くない。
- (5) 日本語は類別詞の意味拡張が大幅に行われているという意味で特異であるが、それはなぜか。
 - 日本語は抽象度が少々高い言語なので、基本類別詞の数が少ない。したがって意味拡張によって、カバーしなければならない。